

質問に対する回答 (令和2年9月24日：1件)

Q 企画提案書(様式2)の継続可否の確認について、継続可に該当するのは割引と補助がともに現状を踏襲した場合に限られるのですか。また、割引のみを提供する場合はどのように回答すればよろしいですか。

- A ① 提案内容(割引額、補助額、会員料金)が現状と全く同じ(踏襲している)場合は「可」とし、右欄に「現状と同じ」と記載してください。
- ② 提案内容が現状と一部でも異なる場合も「可」とし、右欄に割引額、補助額、会員料金及び特典の有無(内容)を券種ごとに記載(記入例参照)するなど、異なる部分を明確に示してください。ただし、右欄に記入(提案)する補助額は、現状の補助額を超えないようにしてください。
- ③ 該当施設について、取り扱いがない場合、又は割引がなく特典も提供できない場合は、いずれについても「否」としてください。

◎ 大人券 定価1,100円の施設について

現状が 割引額200円、補助額100円、会員料金800円、特典なしのケース

(記入例)

【補助が適用できる場合】

パターン①	券種	割引額	補助額	会員料金	特典
	大人券	0円	100円	1,000円	あり(ドリンク1杯無料)
パターン②	券種	割引額	補助額	会員料金	特典
	大人券	100円	100円	900円	なし

【補助が適用できない場合】

パターン③	券種	割引額	補助額	会員料金	特典
	大人券	200円	0円	900円	あり(ドリンク1杯無料)
パターン④	券種	割引額	補助額	会員料金	特典
	大人券	0円	0円	1,100円	あり(ドリンク1杯無料)

【割引と補助がともに適用できる場合：現状と同じ場合を除く】

パターン⑤ (補助額が現状より少ない)

券種	割引額	補助額	会員料金	特典
大人券	250円	50円	800円	なし

パターン⑥ (現状に加えて特典がある)

券種	割引額	補助額	会員料金	特典
大人券	200円	100円	800円	あり(ドリンク1杯無料)

以上